

ロータリーは機会の扉を開く
企画書

座間ロータリークラブ

2020年度 座間ロータリークラブ 事業企画書

- 議題提出者：座間ロータリークラブ
- 議題名：『ロータリーは機会の扉を開く』に関する件
- 委員会名：奉仕活動委員会・公共イメージ合同プロジェクト
- 会長名：溝渕信一 印

1、【事業目的】

テーマ ロータリーは機会の扉を開く

サブテーマ 地域に寄り添う

突然、経験のした事のない状況に国が困惑し、対応困難な国家問題につて、地域の例のない事業の問題を、地域のロータリーが発信し、地域の問題を地区問題と意識し、国際ロータリーが国難（地域）の機会の扉を開く。まさに、新型コロナウイルスの感染者の子ども達を救いたい、その環境整備が必要不可欠で施設の叫びを受け止め援助し、国に対して国際ロータリーから適切な提言をする。

2、【事業背景】

昨年の12月に、武漢で発生した新型コロナウイルスは、日本にも本年1月に感染事例があり、2月には新型コロナウイルスが原因で、神奈川県相模原市で、日本で初めて死亡者確認された。依頼現在も終息するどころか、世界規模にまでおよぶ大規模な感染の広がりを見せている。日本も医療従事者が院内感染をし、医療崩壊が起きる程になり、誰もが経験のしたこのない状況に陥っている状況は言うまでもありません。しかしながら、この感染を食い止めるために、学識経験者が集まり国をあげ分科会で検討される中、日本経済よりも感染の防御を優先するために、緊急事態宣言を発令して、個の行動を制限し抑制しました。しかしながら、第2派はより感染を広め事態は悪化。感染源の特定には限界が生じて、感染者の隔離制限はコントロール不能になり、今や家族感染を防がねばならない状況であります。

家庭内感染を防ぐために絶対的に『家庭内で隔離部屋がある事』は必要不可欠であります。万が一感染の疑いや、感染していた場合、行政や保健所の指示により自宅療養を求められ環境設定が出来れば何の問題もありません。では、その環境を整える事が出来ない、中学生以下の就学児や未就学児を抱える両親が感染し、入院治療を求められた場合はどうなるのでしょうか。そんな受け入れ施設は現在何処にも無いのが現実です。目的外使用で受け入れるとするならば、児童相談所が頼みの綱でしょう。しかし、昨今の虐待、ネグレクト等の一時保護による状況下で、児童相談所では受け入れる事は困難な状況です。現在その状況を踏まえて、本来受け入れなければならない児童を後回しにし、コロナ児を優先し、児童養護施設が受け入れています。

4、【問題点】

児童相談所の受け入れは市町村長が直接的に受け入れるため、特に運営費の問題はありません。しかしながら県レベルの限界を超えたので、依頼したそこには、児童養護施設は国の示す、受け入れの要綱は無く、無償で受け入れなければなりません。当然、国の定め（要綱）が無いお子さんの受け入れには、国や県は依頼をしておきながら、物資の提供はおろか、その子達の生活費さえ支払われない状況です、この時点で皆さんどう感じますか？本来は、運営費をしっかりと提示し依頼すべきですが、緊急的なので後回しです。大きな問題点はここにあるのです。普段の養護施設に支払われる運営費は、ケースに係る子×万円

となります。しかし、神奈川県医療福祉施設協同組合や神奈川県高齢者福祉施設協議会にコロナに対する補助金は即座につけたのに、未だ、コロナ児を預かる施設には、補助金が付かないと言う状況です。国も対応した事の無い状況で大変なのでしょう。私たちロータリアンは、今まさに国が定めた社会福祉施設であり、しかも神奈川県、国が、依頼を投げかけた案件であり、更には、日本に且つ地域に数あるわけではない施設だからこそ、スピード感をもって国際ロータリーが問題解決すべきと思っています。

5、【解決方法】

コロナ児の保護者は感染者であり、コロナ児は同時に濃厚接触者でもあるという事です。そういった子を預かる事は、施設側も感染する可能性があるという事なのです。端的に言うと施設の環境提供が必要不可欠です。そこに入所する子は、施設要件を満たした子ではない一般家庭の子です、隔離が必要ですが、一般の子ですので、TV・ゲーム・エアコン無しでは隔離しても耐えられなく脱走するでしょう。そういった子を隔離した状態を保つには環境整備が重要です。

6、【目標】

環境整備整えるには数百万円の費用ですが、座間ロータリークラブの仲間で、TV・ゲーム・漫画・小説等の現物寄付をいたしました。今後終息が見えない状態です、冬を迎えるにあたって、隔離部屋のエアコンの取り付け等早急に行えればと考えます。それらを整えるのに下記の通りです。

目標額：金1,000,000円

7、【支援して得られる効果】

- ①施設支援により、施設も救われ、何よりも預かるその家庭が救われる
- ②国際ロータリークラブが機会の扉を開き、新たなる未知の展開が生まれる
- ③国が予測する事の出来ない事態に対応しても解らなかった問題点、そこにある命を守る施設に、国も県も想像が出来なかった施設へ緊急支援が出来る
- ④それらをする事で、誰も出来ない支援をする事で、会員は国際ロータリーを見直す
- ⑤そういった活動を会員に見せる事で、やりがいを持てる、そして会員の退会防止に繋がる
- ⑥支援の姿を見て、会員増強がしやすくなるし、Rotaryの実績を話せる
- ⑦国際ロータリーに入会している自分が誇りに思える

《私のつぶやき》

先日、日本全国でロータリークラブは会員が減少していると地区増強委員長がおっしゃっていました。そりゃあ減りますよ。私は会員の一人としてこう思います。だって昔と違って、20年前はロータリーしか無かったから、色々な事業を市民が認知し、私たちの心の中に自慢と満足感とステータスを感じました。しかしながら、今やいろんな団体があり、ロータリークラブより、より優れた事業を他団体が行っています。やはり会員である以上、ロータリークラブしか出来ない事を目指してもらいたい、本来のあるべき姿なのではないでしょうか？きっと大方の年を重ねた人は、昔ながらのロータリアンの入会資格は、完成された人間が入るべきと思っている人が未だに多く、世代交代が出来ず、うまく交流が出来ない人は、人が離れ、人との付き合いが上手くできなくなり、人のせいにして退会しているでしょう。また固定概念を持ち、今までの通りやればいい、そんな考えのロータリアンがいたとするならば、若者が入ったとしても、今時かよと、時代錯誤を感じ退会するのです。私もこんな団体なら辞めたいと思うでしょう。よくロータリークラブをどう説明しますか？と質問されますよね。こういった施設や私利私欲のためでは無く未曾有

の災害や、或いは人のための未来の箱を開ける勢いのある団体に、した事のないプロジェクトがあったとするならば、自身をもって説明できませんか。たまたま座間の地域です。私たちはそう言った、施設のピンチにいるからこそ、同時にロータリークラブ再生のチャンスにもいるのです。今回はこの神奈川県が依頼したにも関わらず、支援が行き届かないこの施設の問題を1施設の問題として、ないがしろにするのではなく、2780地区がリーダーシップを強化し、施設への、国へ機会をつくり、奉仕の理念を行動へと移し、支援を必要とする人びとの生活を向上する活動を行うようしませんか？災害における義援金を行うのに、まあわかりやすいからでしょう。しかし、今抱えるコロナ児に全国のロータリアンから一人千円集められませんか？私たちは30人弱の弱小規模のロータリーです。1クラブでは出来る範囲が決まっています。しかしながら、2780地区が一つになる事により、クラブ労力は最小限で済み、最低でも2780地区にお住いのコロナ児がお世話になり助かるのです。明日は我が身です。自分の子が、孫がその施設居る事を想像してください

7、【実施日時・期間】

2020年9月から施設平常時に戻るまで

8、【対象施設】

神奈川県座間市緑ヶ丘4 - 20 - 21

児童養護施設成光学園